

## 令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立平野小学校 校長 小用 昇

## 1 学校教育目標

人権尊重の精神を基調とし、生涯にわたり主体的に学び続ける人間性豊かな児童の育成を図る。そこで、知・徳・体の調和と統一の取れた児童、広く国際社会に貢献できる社会人となるための基礎を身に付けた児童、将来の選択肢に幅広い可能性をもつ児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

○よく考え進んで行動する子      ○思いやりのある子      ○からだをきたえる子

## 2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

○読書や図書を活用して調べる楽しさを知り、図書館の正しい利用の仕方を身に付けた児童

○自分の興味・関心を大切にし、目的をもって主体的に読書をする児童

○課題解決に向けて図書を活用し、友達とかかわりあいながら意欲的に学ぶ児童

## 3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13050 冊（蔵書基準冊数 10960 冊）／ 蔵書率 119.1%（前年度 6.2%）									
	② 新規購入図書 943 冊 ／ 廃棄図書 244 冊 ／ 増減冊数 699 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	3.6%	0.9%	5.1%	5.5%	8.9%	3.6%	2.1%	7.1%	3.3%	59.9%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9：15～16：00									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 48.9 冊（前年度：43.9 冊） 1か月に2冊以上読む児童 72.7%（前年度：80.7%）									

## （令和5年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 13885 冊（蔵書基準冊数 10960 冊）／ 蔵書率 126.7%									
	② 新規購入図書 835 冊 ／ 廃棄図書 0 冊 ／ 増減冊数 835 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	4.1%	0.9%	5.3%	5.9%	9.5%	3.6%	2.3%	7.1%	3.3%	58.1%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：9：15～16：00（前年度からの変更あり・なし）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 45.3 冊（前年度末：48.9 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 85.7%（前年度末：72.7%）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①学校図書館の利用の仕方、本の借り方返し方を知る。 ②読書活動や読み聞かせを通して、児童の読書に対する興味・関心・意欲を喚起する。 ③ 学習課題達成のために必要な図書の見つけ方を知る。
------	--

今年度の成果目標	達成基準
① 学校図書館での本の借り方、返し方を理解し、正しく利用できる。 ② 水曜日に15分間の朝読書、6月に読書旬間・10月に読書月間を設け、年間個人読書冊数250冊を目標に読書活動に取り組む。 ③国語科の課題解決や調べる学習において、積極的に関係図書を活用し、学習課題に合った情報を見つけることができる。	①年度初めにオリエンテーションを行い、年間10回以上、学校図書館を活用する。 ②年間個人読書冊数達成者60%以上。 ③目的に応じた図書を見つけることができる児童100%。

## 目標達成状況

① 年度初めに学校図書館支援員によるオリエンテーションを実施し、利用方法を理解することができた。毎週1時間ずつ学校図書館を活用できた。
② 年間個人読書冊数達成者は24%であった。
③ 目的に応じた図書を自力で見つけることができた児童は80%であった。

<b>第2学年</b>	① 学校図書館の利用の仕方、本の借り方返し方を知る。 ② 読書活動や読み聞かせを通して、児童の読書に対する興味・関心・意欲を喚起する。 ③ 学習課題達成のために必要な図書の見つけ方を知る。	
<b>今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
① 学校図書館での本の借り方、返し方を理解し、正しく利用できる。 ② 水曜日に15分間の朝読書、6月に読書旬間・10月に読書月間を設け、年間個人読書冊数210冊を目標に読書活動に取り組む。 ③ 国語科において課題に合った図書を精選したり、調べる学習において積極的に関係図書を活用したりして、課題を解決する。		① 年度初めにオリエンテーションを行い、年間10回以上、学校図書館を活用する。 ② 年間個人読書冊数達成者60%以上。 ③ 目的に応じた図書を見つけ、課題解決のために活用できる児童80%以上。
<b>目標達成状況</b>		
① 年度初めに学校図書館支援員によるオリエンテーションを実施し、利用方法を理解することができた。毎週1時間ずつ学校図書館を活用できた。 ② 年間個人読書冊数達成者は30%であった。 ③ 目的に応じた図書を自力で見つけ、活用することができた児童は100%であった。		
<b>第3学年</b>	① 学校図書館のきまりを守って利用し、図書を大切に扱おうとする態度を養う。 ② 読書活動や読み聞かせを通して、児童が進んで読書活動に取り組むようにする。 ③ 学習課題達成のために複数の資料の中から、必要な資料を選ぶことができるようにする。	
<b>今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
① きまりを守って本を借りたり返したりでき、本を大切に扱おうとすることができる。 ② 水曜日に15分間の朝読書、6月に読書旬間・10月に読書月間を設け、年間個人読書冊数130冊を目標に読書活動に取り組む。 ③ 国語科において課題に合った図書を精選したり、調べる学習において関係図書を複数選択したりして、課題を解決する。		① 年度初めにオリエンテーションを行い、年間10回以上、学校図書館を活用する。 ② 年間個人読書冊数達成者60%以上。 ③ 目的に応じた図書を見つけ、課題解決のために活用できる児童80%以上。
<b>目標達成状況</b>		
① 年度初めに学校図書館支援員によるオリエンテーションを実施し、利用方法を理解することができた。毎週1時間ずつ学校図書館を活用できた。 ③ 年間個人読書冊数達成者は17%であった。 ④ 目的に応じた図書を自力で見つけ、活用することができた児童は90%であった。		
<b>第4学年</b>	① 学校図書館のきまりを守って利用し、図書を大切に扱おうとする態度を養う。 ② 読書活動や読み聞かせを通して、児童が進んで読書活動に取り組むようにする。 ③ 学習課題達成のために複数の資料の中から、課題解決に役立つか判断し、資料を選ぶことができるようにする。	
<b>今年度の成果目標</b>		<b>達成基準</b>
① きまりを守って本を借りたり返したりでき、本を大切に扱おうとすることができる。 ③ 水曜日に15分間の朝読書、6月に読書旬間・10月に読書月間を設け、年間個人読書冊数100冊を目標に読書活動に取り組む。 ③ 国語科において課題に合った図書を精選したり、調べる学習において複数選択した図書から役立つ情報を選んだりして、課題を解決する。		① 年度初めにオリエンテーションを行い、年間10回以上、学校図書館を活用する。 ② 年間個人読書冊数達成者60%以上。 ③ 複数の情報から目的に応じたものを見つけ、活用できる児童80%以上。
<b>目標達成状況</b>		
① 年度初めに学校図書館支援員によるオリエンテーションを実施し、利用方法を理解することができた。毎週1時間ずつ学校図書館を活用できた。 ② 年間個人読書冊数達成者は10%であった。 ③ 目的に応じた図書を自力で見つけ、活用することができた児童は80%であった。		

<p><b>第5学年</b></p>	<p>①学校図書館のきまりを守って利用し、図書を大切に扱うことができる。          ②具体的な目標を決め、児童が主体的に読書活動に取り組めるようにする。          ③学習課題達成のために複数の資料の中から、必要な資料だけを選び課題を解決することができるようにする。</p>
<p><b>今年度の成果目標</b></p> <p>①きまりを守って本を借りたり返したりでき、本を大切に扱うことができる。          ②水曜日に15分間の朝読書、6月に読書旬間・10月に読書月間を設け、年間個人読書冊数80冊を目標に読書活動に取り組む。          ③国語科において課題に合った図書を精選したり、調べる学習において複数選択した図書から必要な情報を取捨選択したりして、課題を解決する。</p>	<p><b>達成基準</b></p> <p>①年度初めにオリエンテーションを行い、年間10回以上、学校図書館を活用する。          ②年間個人読書冊数達成者60%以上。          ③複数の情報から、課題解決のために必要な情報を選び、活用できる児童80%以上。</p>
<p><b>目標達成状況</b></p>	
<p>① 年度初めに学校図書館支援員によるオリエンテーションを実施し、利用方法を理解することができた。年間6回ずつ学校図書館を活用できた。          ② 年間個人読書冊数達成者は36%であった。          ③ 目的に応じた図書を自力で見つけ、活用することができた児童は60%であった。</p>	
<p><b>第6学年</b></p>	<p>①きまりを守って本を借りたり返したりでき、本を大切に扱うことができる。          ②具体的な目標を決め、児童が主体的に読書活動に取り組めるようにする。          ③学習課題達成のために複数の資料の中から、必要な資料だけを選び課題を解決することができるようにする。</p>
<p><b>今年度の成果目標</b></p> <p>①きまりを守って本を借りたり返したりでき、本を大切に扱うことができる。          ⑤ 水曜日に15分間の朝読書、6月に読書旬間・10月に読書月間を設け、年間個人読書冊数80冊を目標に読書活動に取り組む。          ③国語科において課題に合った図書を精選したり、調べる学習において複数選択した図書から必要な情報を取捨選択したりして、課題を解決する。</p>	<p><b>達成基準</b></p> <p>①年度初めにオリエンテーションを行い、年間10回以上、学校図書館を活用する。          ②年間個人読書冊数達成者60%以上。          ③複数の情報から、課題解決のために必要な情報を選び、活用できる児童80%以上。</p>
<p><b>目標達成状況</b></p>	
<p>① 年度初めに学校図書館支援員によるオリエンテーションを実施し、利用方法を理解することができた。毎週1時間ずつ学校図書館を活用できた。          ② 年間個人読書冊数達成者は34%であった。          ③ 目的に応じた図書を自力で見つけ、活用することができた児童は80%であった。</p>	
<p><b>5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果</b></p>	
<p><b>取組計画・方針</b></p>	<p><b>成果・効果</b></p>
<p><b>【蔵書・配架等に関すること】</b>          ○図書委員会を中心に、児童が主体となって図書を正しく扱うことや返却場所を守ることの大切さを呼びかける活動を行う。</p>	<p>図書委員会によるお知らせ集会を通して、図書室の使い方や室内でのマナー、図書の返却場所を守る大切さを呼びかけることができた。どの児童も正しく返却することができていた。また、月一回の委員会活動の時間や自分の担当日に図書室の棚の整理を主体的に行う児童も見られた。</p>
<p><b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b>          ○図書を正しく扱うための啓発活動、図書委員会の児童の活動の支援について連携する。          ○低学年を中心に「読み聞かせ」や「本の紹介」活動を協働して行い、児童の本への興味・関心の向上を図る。</p>	<p>○図書室内の掲示を工夫し、図書の正しい扱い方の啓発活動を行ったり、休み時間の図書委員の児童の活動の補助を行ったりして連携を図ることができた。          ○図書委員会主催の活動も積極的に支援していただき、活動が円滑に進んだ。          ○図書室で授業を行うクラスを対象に読み聞かせを行うことができた。児童に合った図書を推薦していただいたおかげで、児</p>

	童の読書意欲が高まった。
<p><b>【その他】</b></p> <p>○年度初め、全学年で最初の図書の時間を「学校図書館オリエンテーション」の時間とし、学校図書館の利用・活用の仕方について、児童に周知する。教職員にも周知する。</p> <p>○保塚図書館と連携したお話会を実施し、学校図書館だけでなく、地域の図書館も活用した読書活動へと広げていく。</p>	<p>○年度初めに、教職員及び児童を対象にオリエンテーションを行うことができた。調べ学習の際に、学校図書館の資料を活用することができた。</p> <p>○保塚図書館と連携し、お話会を実施できた。2年生の生活科の学習で図書館見学も行わせていただいた。</p>

## 6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）

年度初めに全学年対象の「学校図書館オリエンテーション」を行い、学校図書館の利用のルールや活用の仕方について児童に周知したことで、図書の時間以外に休み時間にも積極的に図書館を訪れる児童が増えた。学校図書館支援員と連携し、図書館の季節に合わせた掲示の工夫や低学年を中心に本の紹介や読み聞かせを行うことで、本への興味関心をもたせることができた。令和6年度より図書館支援員が週4日に増えるので、さらに支援員との連携を図りながら学校図書館運営の充実を図っていく。また、コロナ禍により途絶えていた図書ボランティアも保護者から募り、児童への本の読み聞かせや図書館の掲示の工夫をすすめていく。

## 7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）

- ・空き教室がない現状を考えると仕方がないが、図書館が校舎の端にあるのがもったいない。
- ・休み時間などに子供たちが自由に本に触れ本に親しめるように、さらに活用のありかたを工夫してもらいたい。
- ・学校の取組として「朝読書」や「読書旬間」、「読書月間」を設けていることはよいことである。各学年の読書冊数目標の達成者をもっと増やせるとよい。